

2015 年度 日本 OP 協会年次総会議事録

開催日時：2015 年 11 月 22 日（日）19:00～20:30

開催場所：江の島ヨットハーバー 1 階 A 会議室

出席会長：占部副会長、矢野副会長

出席理事：田中理事長、榊原副理事長、花田副理事長、荒川理事、岡田理事、須河内理事、松尾理事、
青野理事、中村理事、西村理事、服部理事、高山理事

出席監事：秋山幹事、檜皮監事

審議に先立ち榊原理事（OP 協会）より評議員総数 50 名に対し、出席評議員数 43 名（内委任状 19 名）で OP 協会規約（第 21 条 - 1、総会の定足数及び議決方法）を満たしており、本総会が成立したことが報告された。

尚、OP 協会会長が所用で出席できなくなったため、矢野副会長が議長に選任され、議事録作成を高山理事、署名人を菅澤氏（江の島ヨットクラブジュニア・東日本）及び前田氏（広島セーリングスクール・西日本）として審議に入った。

議題 1 各委員会活動報告

< 結論 > 各委員会分を各委員から総会資料に沿って報告・説明を行った。

特に指摘は無く、評議員一同承認した。

< 議事詳細 >

会計報告の中で、交通費予算 1 0 0 万円に対し、実績 6 0 万円弱に減った理由は何か？（別府・濱本氏）

理事会は予定通り開催されたが、遠方理事の減少による自然減、他事由と連続移動の際は交通費按分請求などの節約を行い減少した。（田中理事長）

議題 2 監査報告

< 結論 > 檜皮監事から監査報告を行った。監査指摘事項は特になかった。特に質疑は無く、評議員一同承認した。

議題 3 各委員会事業計画報告

< 結論 > 各委員会から総会資料に沿って説明を行った。評議員一同承認した。

< 議事詳細 >

総務委員会の報告にて協会規約の改定が提起され、主に協会所在地の明記、理事長職の再任を妨げない等の規定追加について、改定理由が説明された。

特に質疑なく、評議員一同承認した。

議題4 役員改選

<結論>議長より、浅野会長及び占部副会長の任期満了に伴う再任について提起され、特に質疑なく、評議員一同承認した。

青山選挙管理委員長から、理事及び監事立候補者について不備なく受理したことが報告された。定数内であるため、挙手で承認となり、特に異議なく立候補者9名が承認された。

【選任理事】青野康広、荒川 渡、岡田正和、高山道和、中村 武、西村将弘、松尾英樹、
山田耕充

【選任監事】秋山 敏

【退任理事】榊原和久

議題5 その他

1. 普及育成の事業計画にて具体的な計画はあるか？（横浜・中川氏）
案として、各クラブの入会体験会に JODA 理事が参加し協力することで効果があるかなどを考えている。まず各クラブ体験会の実態を把握してから具体化したい。（西村理事）
2. 協会設立 50 周年記念事業の開催場所の候補は決まっているか？（横浜・中川氏）
まだ何も決まっていない。江の島を候補として考えている。（田中理事長）
3. 各水域レースの全日本出場枠を最大 2 から 3 に増やしてはどうか。理由として、今年の西日本大会は A クラス参加者全員に出場枠が付与される結果となり、各水域レース出場枠の価値がないものとなった。水域枠を増やすことで JODA 収入増も期待できる。検討して欲しい。（高松・陶山氏）
以前は各水域レースの出場枠が 3 であったが、出場枠保有者が東西日本大会に参加してこないという課題があり、2 枠に減少した経緯がある。今後、最近の動向を分析し、検討していきたい。（花田理事）

休憩をはさみ、第一回理事会が開かれ、新理事長及び会計担当理事が次のように決定し、総会で報告された。

田中 令江 理事長

服部 佳苗 会計担当理事

田中理事長、退任理事、選任理事、選任監事より挨拶が行われた。

以上を以て、2015 年度 日本 OP 協会年次総会は終了した。

議事録作成日： 2015 年 11 月 24 日

作成者： 松尾理事、高山理事

議事録署名人： 菅澤 祐輔氏（江の島ヨットクラブジュニア評議員）

前田 博志氏（広島セーリングスクール評議員）

以上